

植物工場立地促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保		
事業主体	県、新規参入する法人、規模拡大する法人				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	R元 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	県2/10～4.5/10、定額等												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [成長を創る(産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくい食・農・環境計画]						
[解決すべき問題・課題] 日本社会が人口減少社会に移行している中、地域経済を活性させるため、雇用機会および税収の確保に取り組む必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 人口の推移および増減割合 (H22年国勢調査を基準) ・日本 H22: 1億2805万人 H27: 1億2709万人(△0.8%) R2: 1億2570万人(△1.8%) ・福井 H22: 806,314人 H27: 786,740人(△2.4%) R2: 762,679人(△5.4%)							
[事業目的] 成長産業として期待されている植物工場への参入検討企業を県内に誘致し、地域の活性化を図る。													
[事業内容] (1) ①植物工場立地促進整備補助 補助対象経費 土地の取得費・造成費用、植物工場等の建設費用、栽培機械等の取得経費 等 県補助率 2/10 (※生産拠点の全部または一部を閉鎖し県外から県内に工場を移転する場合、3/10) 補助上限額 1億円～10億円 ②社宅建設費・住居賃借料補助 事業内容 雇用したU・Iターン者の社宅建設費や住居賃借料を補助 県補助率 社宅建設費 1/10、住居賃借料 1/2 (12か月) ③U・Iターン者雇用促進補助 事業内容 U・Iターン者を雇用した立地法人に対し定額補助(50万円/人) ④オプション支援 ・都市圏等の本社から給与を維持して進出した場合、①の補助率に5%～15%加算 ・子育て世帯雇用(U・Iターン者が子育て世代だった場合)③に上乗せ(50万円/世帯) ・若者等が働きたくなる環境整備に補助率1/2 等 (2) 県推進活動費(事業主体: 県)													
[受益者] 新規参入する法人、規模拡大する法人(進出から10年以内)						[想定される受益者数] 4法人(1箇所/年×4年)							
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 企業的園芸支援事業 (実績) 平成23年度～平成30年度に植物工場を20法人を採択				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況		嶺南の全市町が植物工場への支援を予定している。				他県の状況		【石川県】 雇用拡大関連企業立地促進補助金 ・高度環境制御栽培施設(植物工場)や食品製造工場設置に対する支援 対象: 土地、家屋および償却資産の取得、 県外からの移転費、電気施設設置費 補助率: 5%～20% 上限: 10億円					

植物工場立地促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保					
事業主体	県、新規参入する法人、規模拡大する法人				事務 区 分	■ 自治事務		事業 区 分	■ 実行予算		事業 開 始 年 度	R元 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	県2/10~4.5/10、定額等															
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	518,784				(入) 501,363		17,421	地域活性化基金繰入金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			147,158	698	786	956,150	518,784	令和3年度に補助対象事業指定した2法人の工場が竣工し、事業を開始するため、事業費を増額								
2月現計予算額の推移			147,158	698	786	956,150										
決算額の推移			143,098	698	764											
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 県推進活動費のみ実施のため減額 ・令和4年度 県推進活動費のみ実施 ・令和5年度 補助対象として指定した2法人（山村JR貨物きらベジステーション(株)□(株)タガス）に補助を行うため、事業費を増額 														
[成果指標等の推移]																
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	県内植物工場の 園芸産出額（億円）		(4)	(6)	(8)	(10)		(10)	(10)	当該事業による増加額 10億円（R5）						
			実績 0	12	19	19		19	19							
活動指標	事業採択数		(2)	(3)	(4)	—		(5)	(5)	採択数 年間1箇所						
			実績 1	3	4	—		4	4							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価								
対象の2法人に対し補助を実施				特になし				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	437,366					
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

植物工場誘致補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保				
事業主体	県、市町、県内外企業等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度			
事業実施方法	直営、補助														
補助率	(1)10～50%、(2)10～50%、(3)定額														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [成長を創る(産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくい食・農・環境計画]								
[解決すべき問題・課題] 日本社会が人口減少社会に移行している中、地域経済を活性させるため、雇用機会および税収の確保に取り組む必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 人口の推移および増減割合 (H22年国勢調査を基準) ・日本 H22: 1億2805万人 H27: 1億2709万人(△0.8%) R2: 1億2570万人(△1.8%) ・福井 H22: 806,314人 H27: 786,740人(△2.4%) R2: 762,679人(△5.4%)									
[事業目的] 様々な品目を生産する植物工場が増加している中、対象品目を拡充して植物工場を誘致することにより、県の園芸産出額の増額と雇用機会の拡大を図る。															
[事業内容] (1) 施設整備費補助 対象業種 植物工場(野菜、果樹、花き等) 対象経費 ①土地の取得・造成費用 ②工場等の建設費用 ③機械・設備等の取得経費 ④社宅建設費・住居賃借料 ⑤社員ファースト環境整備 ⑥テレワーク環境整備 補助率 10～50% 総交付限度額 1億円～30億円 施設整備費補助(U・Iターン者新規雇用) 補助額 50万円/人 総交付限度額 5千万円 施設整備費補助(子育て世帯雇用) 補助額 最大50万円/世帯 総交付限度額 5千万円 (2) 事業活動費補助 対象経費 ①生産品搬送費 ②燃料費 ③電気料 ④土地建物賃借料 補助率 10～50% 限度額 1千万円～1億円/12か月(36か月間) (3) 県推進活動費(事業主体: 県)															
[受益者] 新規参入、新增設(進出から10年以内)を行う県内外企業						[想定される受益者数] 3社/年									
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 植物工場立地促進事業 (実績) 令和元年度～令和4年度に4社の植物工場を採択				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況		市町においても独自の支援制度を整備し、県と協力して企業誘致を行っている。				他県の状況		北陸3県を含む多くの自治体が企業誘致制度を有している。							

植物工場誘致補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保				
事業主体		県、市町、県内外企業等			事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R5 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R10 年度	
事業実施方法		直営、補助										経過年数			2 年
補助率		(1)10~50%、(2)10~50%、(3)定額													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	1,985	794			1,191	電源立地地域対策交付金									
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					1,908	1,985	展示会出展費用の値上げに伴う推進費の増								
2月現計予算額の推移					1,908										
決算額の推移															
前年度までの主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	県内植物工場の園芸産出額(億円/年) (目標) 実績				(21.6) 21.6	(26.4)	(26.4)	(39.8)	当該事業による増加額 18.2億円 (R10)						
活動指標	事業採択数(社/年) (目標) 実績				(3) 0	(3)	(3)	(3)	採択数 年間3社						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
農業関係の展示会へ2回(関東)出展し、企業誘致活動を行った。採択には至らなかったが、4社から相談があり、内2社と協議中。				変更なし				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

未来に繋ぐふくいの農業応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保		
事業主体	県農業再生協議会、集落営農組織等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	県 1/2、1/3、1/6、国定額												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [成長を創る(産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ] ※2020農林業センサスより							
・農業経営の規模拡大が進む中、担い手の高齢化や作業員の不足、管理の粗放化による収量・品質の低下が問題となっている。						・集落営農組織の後継者不足（5年以内に後継者を確保していない割合：67%） ・規模拡大に伴う栽培管理の粗放化（5年前と比較し40.4%/経営体の面積拡大）							
[事業目的]													
園芸産地の拡大、水田を活用した園芸、スマート農業の実践や経営規模の拡大による水田農業の経営改善等、稼げる農業経営の実現を目指す取組を支援する。													
[事業内容]													
○スマート農業 ・スマート農業の実践による経営改善に取り組む経営体の機械等整備への支援 補助率：1/2 ○規模の拡大 ・経営規模の拡大による経営改善に取り組む経営体の機械等整備への支援（新規組織化を含む） 補助率：1/3 ○産地の再生 ・産地再生のため、既存ハウスの再整備への支援 補助率：1/3 ○営農の継続 ・規模拡大が困難であるが営農の継続が必要な経営体の機械等整備への支援 補助率：1/6 ○経営支援 ・経営力向上：農業経営アクセラレーションセンターの設置、専門家派遣、就農相談の支援 ・販路拡大：販路拡大について専門家を交えて支援													
[受益者] 集落営農等の担い手農業者						[想定される受益者数] 水田関係：90経営体 園芸関係：60経営体							
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 儲かるふくい型農業総合支援事業 (実績) R02 水田関係：25 園芸関係：23 R03 " : 16 " : 21 R04 " : 14 " : 30 R05(見込) " : 13 " : 13 儲かるふくい型農業総合支援事業の目標等は達成				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況		農業者（整備事業）への支援について、市町を通じた間接補助事業として実施。				他県の状況		富山県 経営面積の拡大や経営の複合化、6次産業化や集落営農の組織化等、とやま型農業経営モデルの実践に必要な農業機械や施設などの導入を支援 補助率 1/3					

未来に繋ぐふくいの農業応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保				
事業主体	県農業再生協議会、集落営農組織等				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R6 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R10 年度	
事業実施方法	直営、補助											経過年数			1 年
補助率	県 1/2、1/3、1/6、国定額														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	208,313	5,153			203,160	農業経営法人化支援総合事業									
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						208,313									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	スマート農業導入経営体数 (目標) 実績					(46)	(46)	(70)	スマート農業導入経営体数 70経営体 (R10) ※その他事業含む						
活動指標	水田園芸に取り組む経営体数 (目標) 実績					(378)	(378)	(450)	水田園芸に取り組む経営体数 450経営体 (R10)						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

スマート農業推進基盤整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体	福井県農業共済組合、各地区協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [成長を創る(産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画]					
[解決すべき問題・課題] 農業者の減少や高齢化により農業経営の規模拡大が進み、スマート農業の導入が重要になっている中、スマート農業技術の活用が不十分である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・経営規模(1経営体あたり) : 16.5ha (H26) → 21.9ha (R4) ・担い手数 : 1,530経営体 (H26) → 1,349経営体 (R4)						
[事業目的] スマート農機による労働力不足の解消や生産費低減等を図るため、技術の導入実証やGPS基地局の利用を促進し、スマート農業を加速的に進める。												
[事業内容] (1) GPS基地局の運営・利用促進 事業内容 : 基地局の運営管理および基地局利用の説明会開催にかかる費用を補助 実施主体 : 福井県農業共済組合 (2) スマート農業技術の導入実証 事業内容 : 環境にやさしい栽培技術および省力化技術を組み合わせたみどり戦略を推進する技術の実証 実施主体 : 各地区協議会 補助率 : 定額												
[受益者] 40ha規模以上の経営体						[想定される受益者数] 250経営体						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 未来に繋ぐふくいの農業応援事業 (役割分担) スマート農機の導入にかかる経費を助成する。						
市町との連携状況	・基地局の利用について市町と連携して推進 ・実証事業の協議会運営には市町が参画し、地域マネジメントを行う。				他県の状況	・特になし						

スマート農業推進基盤整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体	福井県農業共済組合、各地区協議会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	25,067	24,000				1,067	みどりの食料システム戦略推進交付金					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		18,342	10,952	8,216	7,114	25,067	対象協議会数の増加による増					
2月現計予算額の推移		18,342	6,370	12,419	5,507							
決算額の推移		13,816	4,796	11,220								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度：GPS基地局の整備が令和2年度で完了したため減額 (・令和3年度から農業共済組合への補助は定額補助 (R2は国1/2、県1/2)) ・令和4年度：GPSの使用料増加に伴う農業共済組合への補助減 ・令和5年度：GPSの使用料増加に伴う農業共済組合への補助減 										
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	GPS基地局ライセンス 発行数	(目標) (0)	(40)	(100)	(200)	(220)	(220)	(300)	令和8年度にライセンス数300			
		実績 14	68	107	170							
活動指標	実演会の実施 (回)	(目標) (12)	(16)	(12)	(12)	(6)	(6)	(6)	3協議会 × 4			
		実績 17	21	23	8							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
実演会を通じてスマート農業について周知を行ったものの、ライセンス発行数は170件であり、目標の200件を下回った。				これまでの実演会の開催に加え、NOSAIによる県内6か所での説明会を新たに開催することで利用推進活動を行う。				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

がんばれ特産産地！小さな農業応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体	営農集団、生産者等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [成長を創る(産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくい食・農・環境計 画]					
[解決すべき問題・課題] 県内の主要品目の既存産地を支える小規模農家が失敗を恐れずに小さな課題解決 や挑戦ができる支援が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・主要地域等産物の小規模農家数、割合 サトイモ 798経営体 98% ウメ 212経営体 89%						
[事業目的] サトイモやウメ等既存産地を下支えしている小さな農家や集落営農組織等の新たなチャレンジに対して「ちょい足し」支援を行い、地域特産物の生産振興を図る。												
[事業内容] 産地の「ちょい足し」支援（事業主体：営農集団、生産者等） 道の駅や直売所と連動した観光農園、販路開拓、地域特産物の導入など、既存産地の新たなチャレンジを支援 （補助率：1/2、補助上限額：220万円/営農集団、110万円/個人）												
[受益者] 集落営農組織、個人営農者等						[想定される受益者数] 55組織						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小さな農業チャレンジ応援事業 (実績) 農家の「ちょい足し」100組織支援 有望な少量多品目野菜として、カラフル野菜（ニンジン、かぼちゃ）、スナッ プエンドウ、黒カボチャなどを選定				関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		市町と密に連携し、事業を実施				他県の状況						

がんばれ特産産地！小さな農業応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保		
事業主体	営農集団、生産者等				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	補助												
補助率	1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	17,324					17,324							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				20,000	21,623	17,324	補助対象の減						
2月現計予算額の推移				20,000	21,623								
決算額の推移				19,107									
前年度までの 主な増減理由		令和5年度：補助対象の増											
[成果指標等の推移]													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	「ちょい足し」園芸産出額 (目標) (億円) 実績			(130.1) 130.1	(130.9) 130.9	(131.4)	(131.4)	(132.5)	既存産地の園芸産出増加額 2.4億円 (R9)				
活動指標	「ちょい足し」応援数 (目標) (人、組織) 実績			(15) 29	(35) 55	(55)	(55)	(55)					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
成果指標および活動指標とも目標どおり達成した。				変更なし				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	4,299		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

ふくいの農業「女性活躍」応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体	営農集団、生産者等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助								事業経過年数	1 年		
補助率	定額											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [成長を創る(産業力)] 政策 [農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境] 計画					
[解決すべき問題・課題] 福井県の基幹的農業従事者は、実数・割合ともに全国下位であり、女性農業者が働きやすい環境の整備に対する支援が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 農業センサス2020「11 年齢別基幹的農業従事者数」 福井県の女性基幹的農業従事者 実数 3056人(44位) 割合 35%(38位)						
[事業目的] 女性の農業への参画・定着促進を図るため、働きやすい環境の整備等に対して支援する。												
[事業内容] ・ 就労環境整備支援 女性農業者が働きやすい就労環境・受け入れ環境の整備 ・ 省力化機械整備応援 作業従事する女性農業者の負担軽減につながる省力化機械の整備 ・ 女性活躍新規部門導入応援 新たな経営展開や事業の多角化に必要な取り組み												
[受益者] 集落営農組織、個人営農者等						[想定される受益者数] 30経営体 (R8まで)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町と密に連携し、事業を実施					他県の状況	宮城県 みやぎのキラリ輝く女性応援事業 女性農業者が働きやすい環境づくりのためのトイレや休憩所の整備 女性が活躍できる形での事業の多角化(加工等)の環境整備を支援 (補助率1/2)					

ふくいの農業「女性活躍」応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保					
事業主体	営農集団、生産者等				事務 区 分	■ 自治事務		事業 区 分	□ 実行予算		事業 開 始 年 度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	定額															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	20,000				20,000											
[予算額の推移等] (単位：千円)																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						20,000										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	女性農業者雇用者数 (人)	(目標)				(10)	(10)	(30)	女性農業者の雇用者増加数 30人 (R10)							
活動指標	支援経営体数 (人、組織)	(目標)				(10)	(10)	(30)	支援数・定着数 (R8までに計30件)							
実績																
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
									□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
									□ 継続	□ 休止	□ 完了					
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他					

スマートグリーン施設園芸推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保
事業主体	農業生産法人等				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R10 年度	
事業実施方法	補助										
補助率	国1/2 県1/10、(市町1/10)										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [成長を創る (産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等	[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画]					
[解決すべき問題・課題] 本県の耕種別産出額のうち野菜は全国46位 (生産農業所得統計2021) となっている。園芸生産額を増大するには、気象に左右されにくい安定した生産体制を整備し振興する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 生産農業所得統計 (2021 農林水産省) 耕種別産出額 (野菜、億円) [全国順位] 新潟 309[24]、石川 98[45]、福井 81[46]、富山 52[47]					
[事業目的] ICTを活用した環境や生育データに基づく栽培管理に加え、環境に配慮した通年出荷型の大規模園芸施設の整備を行うことで、CO2排出量の削減に寄与するとともに、年間を通して安定した収量・品質を確保し、園芸生産額を向上させる。											
[事業内容] 1. CO2排出量を削減できる大規模園芸施設の整備 補助率 国1/2 県1/10 市町1/10 実施主体 農業生産法人、生産者集団、公社、JA等 2 経営初期の雇用支援 1,000千円/年を5年間補助 (県) 実施主体 農業生産法人、生産者集団等											
[受益者] 大規模施設園芸農家等						[想定される受益者数] 30経営体 (R10まで)					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 スマート施設園芸拡大推進事業 (実績) H25~R5 大規模園芸施設を24か所整備					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	大規模園芸施設の建設、栽培装置の導入に際し、1/10を市町が支援					他県の状況	新潟県 園芸振興基本戦略加速化総合対策事業 (大規模園芸産地の創出) 販売額1億円以上規模の園芸産地の創出に向け、産地自らの課題解決に向けた取組を支援するとともに、産地の拡大に必要な施設・機械の整備を支援し、大規模園芸産地の育成を図る (補助率: 国1/2、県1/10)				

スマートグリーン施設園芸推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保		
事業主体	農業生産法人等				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	補助												
補助率	国1/2 県1/10、(市町1/10)												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,000					3,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移						3,000							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	大規模施設園芸による産出額(億円) (目標) 実績					(13.8)	(13.8)	(15.5)	大規模施設園芸による産出額：15.5億円				
活動指標	大規模施設園芸の整備箇所数 (目標) 実績					(25)	(25)	(30)	大規模施設園芸の整備箇所数：30箇所 ※他事業での整備数も含む				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

夢あるふくいの園芸タウン育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保		
事業主体	県、JA、生産者集団等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	県1/2、国1/2以内・県1/10												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [成長を創る(産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画]						
[解決すべき問題・課題] 園芸生産拡大には低コスト化、省力化が重要であるとともに、新規生産者の早期経営安定を図るため、効率的な指導体制を整えることが必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・新規就農者数 福井県52人、富山県63人、石川県110人 ・新規就農にあたって苦労したこと 「技術習得」55.5% (調査人数710人) (全国農業会議所 新規就農者に関する調査報告書)							
[事業目的] 県、JA、市町等が連携して、スケールメリットを活かせる園芸タウンを整備し、新規就農者の定着と園芸産出額の拡大を図る。													
[事業内容] 1 推進事業 県域プロジェクトチームによるタウンの合意形成と体制づくり 事業実施主体：JA 補助率：県1/2 園芸タウン協議会による産地計画作成、品目や作型の実証 ・産地計画作成 事業実施主体：県、協議会 ・品目や作型の実証にかかる支援 事業実施主体：生産者集団等 補助率：県1/3 (市町1/6) 2 整備事業 リースハウス型・・・ハウス団地整備、共同利用機械の導入 事業実施主体：JA、生産者集団等 補助率：国1/2以内 県1/10 (市町1/10) 露地園芸型・・・播種、防除、収穫等の機械、育苗ハウス等の共有化 事業実施主体：JA、生産者集団等 補助率：国1/2以内 県1/10 (市町1/10)													
[受益者] 県内農業者						[想定される受益者数] 約100名							
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 若手農業者リースハウス整備事業 (実績) H29～R2にかけて、若手農業者用のリースハウスを計99棟整備					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	県に合わせて市町も1/10以上補助するよう市町と調整し、協働して事業を実施。					他県の状況		秋田県において園芸メガ団地(産出額1億円産地)を26か所整備(県20/100)					

夢あるふくいの園芸タウン育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保				
事業主体	県、JA、生産者集団等				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度	
事業実施方法	直営、補助											経過年数			4 年
補助率	県1/2、国1/2以内・県1/10														
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	262,541		214,302			48,239		農山漁村振興交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				55,196	131,491	73,233	262,541	園芸タウン整備事業費の増							
2月現計予算額の推移				47,020	102,396	96,296									
決算額の推移				9,857	89,053										
前年度までの 主な増減理由		令和4年度：園芸タウン協議会の増による推進事業費、整備事業費の増 令和5年度：園芸タウン整備事業費の減													
[成果指標等の推移]															
区分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	園芸タウン販売額	(目標)		(0)	(0)	(0)	(0.6)	(0.6)	(7.4)	園芸タウンによる販売額7.4億円増(R17)					
		実績		0	0	0									
活動指標	園芸タウン整備箇所数	(目標)		(1)	(3)	(3)	(7)	(7)	(10)	R7までに園芸タウンを10か所整備					
		実績		1	2	4									
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
10協議会を設立、R5にタウンを2か所整備し(合計4カ所整備)、R6年～R7年にかけて新たに2か所の整備を進めている。				変更なし				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

収入保険加入推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保		
事業主体	福井県農業共済組合					事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助												
補助率	1/3 (加入者負担分)												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [成長を創る (産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]					関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくい食・農・環境計画]					
[解決すべき問題・課題] 大雨による自然災害等の影響による農業者の収入減少に対する経営の安定化						[問題・課題を表す客観的データ] 収入保険加入者数 1, 552 経営体 (R5.4月現在)							
[事業目的] 大雨などの自然災害によるもののほか、あらゆるリスクに伴う収入減少に対応するため、収入保険の保険料の一部を支援することにより、農家の収入保険加入を推進し、農業経営の安定を図る。													
加入者が負担する保険料 (掛け捨て部分) の補助 補助率 1/3													
[受益者] 農業経営者 (収入保険加入者)						[想定される受益者数] 100 経営体							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	7市町で5年産対象の補助制度あり (福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、坂井市、永平寺町)					他県の状況	令和5年度予算で措置: 福島県、千葉県、東京都、石川県、岐阜県、岡山県、徳島県、熊本県						

収入保険加入推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保		
事業主体	福井県農業共済組合				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	補助									経過年数			4 年
補助率	1/3 (加入者負担分)												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,862				1,862								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			86,083	11,964	3,753	1,862	補助実績による減額						
2月現計予算額の推移			73,061	11,964	3,753								
決算額の推移			56,179	1,438									
前年度までの主な増減理由		令和4年度：対象者数の減による減額 令和5年度：対象者数の減による減額											
[成果指標等の推移]													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	収入保険加入者数 (目標)		(2,000)	(1,600)	(1,650)	(1,750)			R5年度NOSA I加入目標：1,650 R6年度：1,650+100=1,750				
	実績		1,463	1,542	1,598								
活動指標	収入保険新規加入者(支援)数 (目標)		(850)	(300)	(100)	(100)			R5年度(R6年産)の実績および過去の加入者の伸びを考慮してR6年度(7年産)の目標を設定				
	実績		344	119	96								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
・当事業では、収入保険加入者に1回に限り補助することとしており、4年産(3年度事業)を対象として継続・新規加入者に、5年産(4年度事業)を対象としては新規加入者のみに補助を行った。その結果、大規模経営者の加入が進むとともに、青色申告者に対する加入割合が約44%と全国1位となったが、小規模の農業者の加入が伸び悩み、目標達成に至らなかった。 ・補助実績見込(119経営体 7,357円/個人経営体、69,991円/法人経営体)から、新規加入者の基準収入平均(経営規模)は2,000千円程度と判断されるため、引き続き、中小の農業経営者への加入推進を進める。				変更なし				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,891		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

ガッチリ稼ぐフルーツ産地推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保
事業主体	協議会				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R9 年度	
事業実施方法	補助										
補助率	国1/2 (工事整備費、機械整備費)										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野	[成長を創る (産業力)]			関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくい食・農・環境計画]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
<ul style="list-style-type: none"> ・生産者の高齢化、果樹園地の高樹齢・低収化 ・果樹就農希望者の増加に比べ技術習得の場が不足している ・果樹は植栽からの未収益期間が長い 						<ul style="list-style-type: none"> ・ナシの出荷量：H12…1,550t/60ha、R2…900t/50ha ・果樹就農希望者：H29…1人、R2…6人 ・植栽から成園までの年数：10年 (ナシ) 					
[事業目的]											
園芸カレッジに果樹研修機能を新たに付加し、最新で高度な果樹栽培技術の習得支援を行い、さらに就農園地の成園化までの所得を確保する仕組みづくりを確立させることで、円滑な果樹就農者の育成を図り、県内のフルーツ産地を拡大する。											
[事業内容]											
1. 講習展示圃場の整備 (30a) 実施主体 協議会 (一般) 園芸カレッジに講習展示圃場を整備											
2. 実習圃場の整備 (160a) 実施主体 協議会 (国庫1/2 (工事整備費、機械整備費)、一般 (その他)) 果樹新規就農者の未収益期間を補うための模擬経営実習を行う実習圃場を整備											
[受益者] 果樹園芸参入者						[想定される受益者数] 8経営体 (R9まで)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 夢あるふくい園芸タウン育成事業 (役割分担) ・リース果樹園の整備				
市町との連携状況						他県の状況	・特になし				

ガッチリ稼ぐフルーツ産地推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保		
事業主体	協議会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R4 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R9 年度	
事業実施方法	補助									経過年数			3 年
補助率	国1/2 (工事整備費、機械整備費)												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	24,006	7,908			16,098	新規就農者育成総合対策事業							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				37,719	71,339	24,006	R4, 5年度にかけ実施した果樹棚整備の完了による減						
2月現計予算額の推移				28,347	50,997								
決算額の推移				30,223									
前年度までの主な増減理由	令和5年度：圃場整備費、機械整備費等の増額												
[成果指標等の推移]													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	果樹の新規就農者数 (目標) 実績			(0) 0	(0) 0	(0)	(0)	(8)	園芸カレッジR5入校者から対象。 (R7～就農)				
活動指標	講習展示圃場および実習圃場の整備 (単位：a) (目標) 実績			(90) 90	(190) 190	(190)	(190)	(190)					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
実習圃場100aを整備 ナシ苗の定植実施 ナシ苗のジョイント実施				令和4, 5年度にかけ果樹棚および灌水施設を整備したため、令和6年度は整備圃場に収穫時に必要となる防鳥ネット、防蛾灯を整備。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	47,333		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

新規就農者支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体	各市町、県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	補助、定額給付											
補助率	県1/2、市町1/2など											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [成長を創る(産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画]					
[解決すべき問題・課題] 就農希望者や新規就農者は資金や生活が不安定であり、行政や関係機関が一体となって支援する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・新規就農者数推移 (H30~R3) H30: 91名、R1: 94名、R2: 120名 ・ふくい園芸カレッジ入校生 R1: 31名、R2: 30名、R3: 30名、R4: 30名						
[事業目的] 認定新規就農者(青年等計画の認定を受けた新規就農者)に対する就農環境の整備、経営の早期安定のための支援策を講ずることにより、計画的かつ円滑に新規就農者の育成・確保、定着を推進する。												
[事業内容] (1) 研修支援事業 ①受入農家の負担分を助成 補助率 国10/10 ②就農準備資金 補助率 国10/10 (2) 経営支援事業 ①経営開始資金(原則50歳未満) 補助率 国10/10 ②農業次世代人材投資資金(経営開始型)(原則50歳未満) 補助率 国10/10 ③就農奨励金(50歳以上60歳未満) 補助率 県1/2 市町1/2 ④小農機具等整備奨励金 補助率 県1/4 市町1/4 ⑤住宅確保支援事業 補助率 県1/4 市町1/4 (3) 施設等整備支援事業 経営開始時の設備投資支援 補助率 国1/2、県1/4												
[受益者] 新規就農者、就農研修受講者、研修生を受け入れる里親農家						[想定される受益者数] 研修支援事業 ①4名、②34名 経営支援事業 ①34名、②41名、③12名、④17名、⑤7名 施設等整備支援事業 20名						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新規就農サポート事業 (実績) 研修中および経営開始後の支援を行い、平成15年度までの5年間で67名の就農に結びつけた。しかし、一層の就農者確保の必要から、青年就農給付金(国庫)を取り込むなどして拡充を図った。				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 園芸経営者誘致事業、園芸カレッジ研修事業、越前若狭田んぼ道場事業 (役割分担) 研修生の誘致や農業研修等の実施				
市町との連携状況		県 : 研修中の支援制度についての申請・交付窓口 市町 : 就農後の支援制度についての申請・交付窓口				他県の状況		・新規就農者数 石川県123人、富山県84人(R4) ・国の新規就農者育成総合対策(就農準備資金・経営開始資金)が全県で運用 ・各県で独自の就農支援策が運用されている。 ○就農前研修支援 鳥取県(研修費助成1,200千円/年) 島根県(研修費助成1,440千円/年) ○就農後支援 島根県(就農奨励金 750千円/年) 大分県(就農奨励金1,000千円/年)				

新規就農者支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体	各市町、県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H16 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	補助、定額給付											
補助率	県1/2、市町1/2など											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	216,680	183,977			32,703	新規就農者育成総合対策						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		179,706	193,056	359,915	254,724	216,680	補助対象者の減					
2月現計予算額の推移		117,722	142,915	144,523	146,201							
決算額の推移		114,185	127,911	134,666								
前年度までの 主な増減理由	令和2年度 融資主体型補助事業の要望の減 令和3年度 次世代人材投資資金準備型、経営開始型および小農具等整備奨励金の要望の増 令和4年度 新メニュー（機械・施設等導入への支援、雇用就農支援、集落営農活性化プロジェクト）の追加による増 令和5年度 メニューが一部国直採になったため減（雇用就農支援）											
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新規就農者数/年間	(目標) (120) 実績 120	(120) 121	(120) 121	(120) 120	(130)	(130)	(130)	人材確保（R2-R6）5年間で600名 年間120名			
活動指標	支援制度利用者数	(目標) (148) 実績 114	(154) 120	(177) 110	(169) 106	(135)	(212)	(212)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・新規就農者数 121名（R4）→120名（R5） ・支援制度利用者数 110名（R4）→106名（R5） 活動指標は要望者数が減少したが、成果指標は目標を達成した。				変更なし				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額 38,044	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

園芸経営者誘致事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [成長を創る (産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等			[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計 画]				
[解決すべき問題・課題] 県内の園芸の担い手が減少傾向にある中、県外からのUIターン者を誘致し、 新規就農者として呼び込むことが重要である						[問題・課題を表す客観的データ] ふくい園芸カレッジ生の県外比率 R3 43% (13/30) R4 50% (15/30) R5 30% (9/30)						
[事業目的] 本県の園芸生産を支える新たな担い手と企業的農業経営者を誘致するため、東京、大阪を中心にセミナー等を実施し、県外からの新規就農者を呼び込む。												
[事業内容] ①希望者に対して就農情報を提供 ②大規模展示会への出展等や、インターネットを利用した広報活動の実施 ③県外出身研修生に研修奨励金を給付 (600千円/年を2年以内) (2人以上の家族の場合、900千円/年を2年以内) ④50歳以上の県外出身研修生に就農給付金 (準備型) を給付 (900千円/年を2年以内)												
[受益者] 新就農希望者、研修生						[想定される受益者数] 就農給付金 (準備型) 9名、研修奨励金 26名						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新規就農者支援事業、園芸カレッジ研修事業、越前若狭田んぼ道場事業 (役割分担)					
市町との連携状況	市町と合同でセミナー・相談会を開催して、UIターン就農者の確保につなげていく。					他県の状況	<input type="checkbox"/> 高知県 ・ 専業農家を目指して研修を受ける場合に、月15万円を最長2年間支給 <input type="checkbox"/> 鳥根県 ・ 就農予定時原則45歳以上のUIターン者が研修を行う場合に月12万円を最長1年支給 ・ 就農時45歳以上65歳未満の認定新規就農者に、年75万円を最長2年間支給					

園芸経営者誘致事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	22,621				22,621							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		38,720	29,040	20,127	26,859	22,621	研修奨励金と就農給付金（準備型）の対象者数減					
2月現計予算額の推移		18,145	14,191	17,227	16,709							
決算額の推移		17,426	12,704	14,923								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度：県単就農給付金（準備型）、研修奨励金の要望が減少 ・令和4年度：県単就農給付金（準備型）、研修奨励金の要望が減少 ・令和5年度：県単就農給付金（準備型）、研修奨励金の要望が増加 										
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県外出身研修生数 (新規就農コース)	(目標) (20) 実績 6	(20) 13	(20) 15	(20) 9	(20)	(20)	(20)	園芸カレッジ新規就農コース（定員：30人）のうち20人を県外から誘致			
活動指標	県外でのセミナー参加人数	(目標) (250) 実績 258	(250) 352	(250) 222	(250) 179	(250)	(250)	(250)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
(令和5年度末見込み) ・新規就農コース30人のうち9人を県外から誘致 令和5年度は、例年に比べセミナー自体の参加人数が少なかったこともあり、当事業における参加者は減少。				県外誘致を従来よりも回数を増やし、誘致を図っていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	4,238	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくい園芸カレッジ研修事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [成長を創る (産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等			[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計 画]				
[解決すべき問題・課題] 県内の園芸関係の担い手が減少傾向にある中、県外からのU I ターン者を含め、新規就農者の技術向上を図ることが重要						[問題・課題を表す客観的データ] 園芸生産者の推移 ※福井県園芸レベルアップ委員会による品目別の生産者数の合計(のべ人数) H24:5,362人、H28:4,880人、H30:4,352人、R2:3,965人、R3:3,784人、R4:3,194人						
[事業目的] 専門研修を行うふくい園芸カレッジを設置し、新規就農者を確保する。												
[事業内容] ①新規就農コース ・施設園芸や露地栽培、果樹の模擬経営研修、知識習得研修の実施 【対象者】新たに園芸で新規就農を目指す者 ②地産地消コース ・直売所向け品目の栽培講座や売り方等についての講座を実施 【対象者】新たに農業を志し直売所出荷を開始する者、既存の直売所出荷者等 ③スマート園芸コース ・大規模施設園芸のための高度な栽培知識や経営力を習得する研修を実施 【対象者】スマート園芸技術を用いた技術で就農や法人就業を目指す者 ④農業教育高度化事業 ・スマート園芸についての研修カリキュラムの強化および高度栽培技術にかかる研修用機械等の整備 ⑤県外誘致活動 ・都市圏での研修生スカウト活動の実施												
[受益者] 研修受講生						[想定される受益者数] 73人/年						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 園芸経営者誘致事業、新規就農者支援事業 (役割分担) 研修生の誘致や研修修了後の就農支援の実施、県内各市町への就農に向けた育成拠点					
市町との連携状況	・農地斡旋や就業先、里親の紹介で市町と連携					他県の状況	富山県：「とやま農業未来カレッジ」 実施主体 公益社団法人富山県農林水産公社 研修期間 1年 受講料118,800円 募集人数 15人(最大20人) 石川県：「いしかわ耕稼塾」 実施主体 公益財団法人いしかわ農業人材機構 研修期間 1年 受講料 無料 募集人数 16人					

ふくい園芸カレッジ研修事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	24,624	11,099		(諸) (財) 1,362 240	11,923	農業高度化教育事業						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		9,705	18,224	12,792	11,896	24,624	機械導入に伴う増（スピードスプレーヤー、マニアスプレッター、環境制御装置）					
2月現計予算額の推移		9,926	16,736	12,724	11,800							
決算額の推移		9,391	16,736	11,676								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度：整備事業（環境制御装置）の追加による増 ・令和4年度：高度栽培技術研修用の施設整備完了による減 ・令和5年度：高度栽培技術研修における備品購入金額の減 											
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新規園芸生産者数 (目標)	(53)	(73)	(73)	(73)	(73)	(73)	(73)	新規就農（前年度修了生）＋地産地消＋スマート園芸			
	実績	118	68	61	63							
活動指標	カレッジ入校者数 (目標)	(53)	(73)	(73)	(73)	(73)	(73)	(73)	新規就農コース30人、地産地消コース40人、スマート園芸コース3人			
	実績	99	70	61	63							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
[令和5年度入校生] ・新規就農コース：30人 ・地産地消コース：29人 ・スマート園芸コース：4人 地産地消コースにおいて、3月中旬～4月下旬に周知したものの、想定より参加者数が少なくなった。				地産地消コースにおいて周知期間を5月上旬までに拡大することで受講生を確保する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

越前若狭田んぼ道場研修事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [成長を創る (産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等			[次世代へつなぐ、希望あふれるふくい食・農・環境計 画]				
[解決すべき問題・課題] 集落営農組織等の後継者やオペレーターが即戦力となるための技術力（栽培技術、機械操作技術等）のレベルアップ						[問題・課題を表す客観的データ] 水稻部門の新規就農者（就業者含む）の推移 H30:34人、R1:44人、R2:61人、R3:56人、R4:51人、R5:62人						
[事業目的] 集落営農組織等の後継者やオペレーターを育成するため、「越前若狭 田んぼ道場」を開講し、本県の水田農業の維持・発展を目指す												
[事業内容] ①後期研修 4月～10月実施 (機械操作実習) 代かき、田植え、収穫 (座学研修・現地研修) 育苗研修、刈払安全取扱研修、生育診断・管理、水稻乾燥調製研修、県内農業法人等視察 (大型特殊運転免許講習) ②前期研修 1～3月実施 (座学研修・現地研修) 水稻栽培基礎、各農業支援制度、トラクター・コンバインメンテナンス、スマート農業、農作業安全 (機械操作実習) 畔塗り 【対象者】 集落営農組織や認定農業者の就業者・オペレーター従事者で、就業して間もない者												
[受益者] 研修受講生						[想定される受益者数] 20人/年						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新規就農者支援事業 (役割分担) 研修生の就農・定着に対する支援					
市町との連携状況	・研修生募集について住民への周知協力を得る。					他県の状況	富山県「とやま農業未来カレッジ」 実施主体：公益社団法人富山県農林水産公社、研修期間：1年、募集人数：15人(最大20人)、農業全般の研修の一部として、水稻を学ぶ 石川県「いしかわ耕稼塾」 実施主体：公益財団法人いしかわ農業人材機構、研修期間：1年、募集人数：16人、研修期間1年の「本科」にそれぞれ、野菜・花き・果樹・水稻・畜産の独立したコースを設置					

越前若狭田んぼ道場研修事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保				
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R元 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度	
事業実施方法	直営、委託											経過年数			6 年
補助率	—														
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	7,273					7,273									
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			15,388	8,808	7,894	7,729	7,273	カリキュラム内容見直しによる減							
2月現計予算額の推移			15,388	8,808	5,549	7,729									
決算額の推移			14,567	7,349	4,682										
前年度までの 主な増減理由		令和3年度：前年度の備品整備完了に伴う減 令和4年度：カリキュラム内容見直しによる減 令和5年度：カリキュラム内容見直しによる減													
[成果指標等の推移]															
区分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	新規就農者数/年	(目標)	(120)	(120)	(120)	(120)	(130)	(130)	(130)	農業産出額および過去の実績等から目標を設定					
		実績	120	121	120	120									
活動指標	「越前若狭田んぼ道場」 受講生数	(目標)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	過去3ヶ年の水稻部門における新規法人就業者数の平均17人から算出					
		実績	25	31	23	28									
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
令和5年度受講生（R6年1月～R6年10月研修）：28名				特になし				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	456				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

「OTAMESHI（お試し）」就農事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [成長を創る(産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等			[次世代へつなぐ、希望あふれるふくい食・農・環境計 画]				
[解決すべき問題・課題] 県内の集落営農法人は経営規模の拡大が進む一方で、オペレーターの高齢化や後継者不足が深刻化している。						[問題・課題を表す客観的データ] 大規模水田農業経営体の状況 ・40ha以上の経営体 H27: 59経営体 → R2:214経営体 ・専従者数(雇用型) 必要数408人(8,155ha/20ha)に対しR2:311人						
[事業目的] 民間を活用して県内外から就業希望者を誘致し、市町と連携した集落営農法人等でのインターンシップ型研修を通してマッチングすることにより、適した農業人材を確保・育成する。												
[事業内容] ①就農希望者の誘致 農業求人サイトを活用して県外からの就業希望者を確保 ②インターンシップ型研修（「OTAMESHI（お試し）」就農） 2か月間、2農業法人にて農業に従事し（研修費支給）マッチング												
[受益者] 研修生						[想定される受益者数] 研修生：10名						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 越前若狭田んぼ道場研修事業 (役割分担) マッチングにより就業した人材の技術力(栽培技術、機械操作技術等)のレベルアップ					
市町との連携状況	お試し就農の受入れ先(集落営農法人)は、市町の推薦により選定					他県の状況	福島県：多様な担い手確保支援事業 人材派遣会社が、求人サイト等で人材を募集し、4か月間のお試し就農を実施。県は、募集や派遣社員の人件費などを支援。 島根県：しまねアグリビジネス実践スクール「集落営農コース」 人材派遣会社が人材を募集し、最長1年間、集落営農組織等に派遣。 県は、募集や派遣社員の人件費などを支援。					

「OTAMESHI（お試し）」就農事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,970				5,970							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				10,669	6,025	5,970	誘致費の見直しによる減					
2月現計予算額の推移				4,143	3,834							
決算額の推移				3,981								
前年度までの 主な増減理由	R5：LPページ作成の完了による減、対象研修生数の見直しによる減											
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新規就農者数／年 (目標) 実績			(120) 120	(120) 120	(130)	(130)	(130)	農業産出額および過去の実績等から目標を設定			
活動指標	インターンシップ型研修を受けた新規就農者数／年 (目標) 実績			(25) 1	(10) 4	(10)	(10)	(10)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
就農フェア等での就農相談件数が昨年度よりやや少なくなったことに加え、現制度では会社員等が長期休暇等をもって研修を受けることが難しいという声もあり、研修受講者数は昨年度の1名を上回ったものの4名となった。				「お試し就農」の事業要領を見直し、働きながらも研修できるよう事業要領を改正する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	55	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

米粉普及拡大推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R7 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [成長を創る (産業力)]	政策 [農林水産業の力でふくいをブランドアップ]	関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画]						
[解決すべき問題・課題] 主食用米の生産量は、県農業再生協議会の生産数量の目安により割当られており、農家は増産できない。収益増加のためには、加工用米への転作に取り組む必要があるため、米粉の需要の増加を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和4年度主食用米生産目安減少：2,762t減少 令和4年度生産面積減少：532 ha減少					
[事業目的] 現在、低アレルギーで健康によい食品として米粉に注目が集まっている。米粉加工用米の品種選定や米粉特性指標の作成を行い、農家および食品加工業者の課題を取り除き、米粉普及拡大に取り組むことで、農家の加工用米の増産とそれに伴う所得向上に貢献する。											
[事業内容] ・米粉加工用米品種の栽培試験（農業試験場） 福井県の気候に適した米粉加工用専用品種・栽培方法の特定											
[受益者] 農業者等						[想定される受益者数] 約75万人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況	新潟県産米粉及び米粉製品プロモーション事業 山形県米粉利用助成事業				

米粉普及拡大推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保				
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R5 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R7 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			2 年
補助率	-														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	299					299									
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					299	299									
2月現計予算額の推移					299										
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	一般農家の圃場での試験栽培、品質評価 (件)				(0) 0	(0)	(1)	(1)	R6までに農業試験場で試験栽培したものを評価・選抜し、R7以降さらに一般農家で試験栽培を行い品質を評価						
活動指標	栽培試験回数				(1) 1	(1)	(1)	(1)							
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
農業試験場にて8品種の試験栽培・評価を実施した。				変更なし				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

儲かるふくい型農業総合支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保			
事業主体		県農業再生協議会、集落営農組織等			事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	県1/3、県1/6、国1/2、国定額													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [成長を創る(産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ] ※2020農林業センサスより								
・農業経営の規模拡大が進む中、担い手の高齢化や作業員の不足、管理の粗放化による収量・品質の低下が問題となっている。						・集落営農組織の後継者不足（5年以内に後継者を確保していない割合：67%） ・規模拡大に伴う栽培管理の粗放化（5年前と比較し40.4%/経営体の面積拡大）								
[事業目的]														
園芸産地の拡大、水田を活用した園芸、スマート農業や雇用導入による水田農業の規模拡大等、儲かる農業経営の実現を目指す取組を支援する。														
[事業内容]														
○園芸支援（産地拡大） ・ 園芸産地育成や水田園芸の拡大のため、野菜、果樹、花きの園芸に新たに取り組む場合や、規模拡大に必要な機械・施設等整備および畑地化に対する支援 ○水田支援（規模拡大） ・ スマート農業型：ICT農業機械の導入による規模拡大を図るための機械整備に対する支援 ・ 新規雇用型：越前若狭田んぼ道場やUIターンによる新規就農者等を雇用して規模拡大を図るための機械整備に対する支援 ・ 営農の継続：規模拡大が困難な小規模経営体が営農を継続していくための機械整備に対する支援 ・ 集落営農活性化型：農地の持続的利用に必要な経費および共同利用機械整備に対する支援 ○経営支援 ・ 経営力向上：農業経営相談所の運営、専門家派遣、集落営農等の法人化に対する支援 ・ 販路拡大：販路拡大について、専門家を交えて支援														
[受益者] 集落営農等の担い手農業者						[想定される受益者数] 水田関係：90経営体 園芸関係：60経営体								
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 収益性の高い水田農業経営確立支援事業 (実績) H29 水田関係：20 園芸関係：9 H30 " : 25 " : 16 R01 " : 20 " : 16 集落営農組織等への集積率がH75.6% (H28) から80.6% (H30) まで向上し、水田園芸の産出額も7.5億円 (H28) から11億円(H30) へ上昇した。				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況		農業者（整備事業）への支援について、市町を通じた間接補助事業として実施。				他県の状況		富山県 経営面積の拡大や経営の複合化、6次産業化や集落営農の組織化等、とやま型農業経営モデルの実践に必要な農業機械や施設などの導入を支援 補助率1/3						

儲かるふくい型農業総合支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保		
事業主体	県農業再生協議会、集落営農組織等				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	県1/3、県1/6、国1/2、国定額												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額													
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		217,045	270,485	311,352	213,387								
2月現計予算額の推移		212,683	200,928	240,266	188,932								
決算額の推移		202,754	194,238	222,227									
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 自動操舵導入型（トラクタ等既存農機へ後付けできる自動操舵システムの導入に対する支援）の拡充による増 ・令和4年度 集落営農活性化型（農地の持続的利用に必要な経費、共同利用機械整備に対する支援）の拡充による増 ・令和5年度 自動操舵導入型メニューの終了による減 											
[成果指標等の推移]													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	40ha規模以上の経営体数	(目標) (214)	(226)	(238)	(250)		(250)	(250)	40ha規模以上の経営体数 250経営体 (R5) ※その他事業含む				
		実績 214	226	238	250		250	250					
活動指標	水田園芸の増加額	(目標) (15)	(17)	(19)	(21)		(21)	(21)	水田園芸の産出額 21億円 (R5)				
		実績 15	17	21	22		22	22					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
成果指標および活動指標とも目標を達成し、新規事業予算化のため終了。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	213,387		
								<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

スマート施設園芸拡大推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体		農業生産法人等			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	国1/2 県1/10、(市町1/10)											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [成長を創る(産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]			関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 本県の耕種別産出額のうち野菜は全国46位(生産農業所得統計2019)となっている。園芸生産額を増大するには、気象に左右されにくい安定した生産体制を整備し振興する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 生産農業所得統計(2019 農林水産省) 耕種別産出額(野菜、億円)[全国順位] 新潟 317[24]、石川 97[44]、福井 81[46]、富山 56[47]						
[事業目的] ICTを活用して収量・品質の向上を図り、大規模ハウスによる通年出荷型のスマート施設園芸を支援。												
[事業内容] 1. スマート園芸施設の建設、栽培装置の導入 補助率 国1/2 県1/10 市町1/10 実施主体 農業生産法人、生産者集団、公社、JA等 2 経営初期の雇用支援 1,000千円/年を5年間補助(県) 実施主体 農業生産法人、生産者集団等												
[受益者] 大規模施設園芸農家等						[想定される受益者数] 30経営体(R5まで)						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 自然光利用型の連棟ハウス整備事業 (実績) H25~R1 大規模園芸施設を15か所整備				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		スマート園芸施設の建設、栽培装置の導入に際し、1/10を市町が支援				他県の状況		富山県 競争力強化生産総合対策 農産物処理加工施設、生産技術高度化施設、集出荷貯蔵施設整備 補助率 1/2				

スマート施設園芸拡大推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保		
事業主体	農業生産法人等				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	補助												
補助率	国1/2 県1/10、(市町1/10)												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額													
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		151,918	239,338	100,900	274,465		施設整備箇所増加による増						
2月現計予算額の推移		111,750	336,580	100,900	273,996								
決算額の推移		16,641	238,895	99,202									
前年度までの 主な増減理由	整備する施設の規模による増減 R2年度は勝山市でイチゴ栽培鉄骨ハウスおよび栽培装置、2,400㎡を整備。併せて環境モニタリング装置を22基整備。 R3年度は福井市でキュウリ栽培鉄骨ハウスおよび栽培装置、5,049㎡を整備。国経済対策により2年度2月に前倒し。 R4年度は敦賀市でキュウリ栽培鉄骨ハウスおよび栽培装置、3,552㎡を整備。国経済対策により3年度2月に前倒し。												
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	スマート園芸施設による産出額(億円)	(6.3)	(7.5)	(9.1)	(15.5)		(15.5)	(15.5)	スマート園芸施設による産出額 R5 15.5億円				
		実績	11.3	12	12	13.1		13.1					13.1
活動指標	スマート園芸施設整備箇所数	(18)	(22)	(26)	(30)		(30)	(30)	R5までにスマート園芸施設30箇所(累計)				
		実績	17	20	22	24		24					24
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
・越前市および美浜町でイチゴ、ミディトマトの大規模園芸施設を整備し、2経営体に対して経営初期の雇用支援を実施。 ・整備箇所数が24箇所にとどまったため成果指標は未達成となった。事業見直し年度となり、次期事業での達成を目指すため終了。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	274,465		
								<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

地域で育てる園芸人材サポート事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保	
事業主体	市町・JA・公社等				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	国1/2・県1/10、国定額、国1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [成長を創る(産業力)] 政策 [農林水産業の力で福井をブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 園芸カレッジ研修生の就農地が、坂井北部丘陵地や三里浜砂丘地等に集中している。						[問題・課題を表す客観的データ] 園芸カレッジ修了者のうち、坂井北部丘陵地・三里浜砂丘地での就農者数 H29入校:16人/30人、H30入校:26人/31人、R1入校:14人/28人、R2入校:13人/28人						
[事業目的] ふくい園芸カレッジ研修生が希望する地域で就農できるように、2年目の研修施設として市町が整備する人材育成拠点の整備を支援する。												
[事業内容] 人材育成拠点の整備 内 容 パイプハウス整備、研修施設整備、農舎・集出荷施設整備、農機整備等 補助率 国1/2、県1/10 農業教育の高度化 内 容 研修機関の教育カリキュラム強化と研修用機器の購入 補助率 国1/2、10/10 就農サポート体制の構築 内 容 就農相談体制の整備 補助率 国1/2												
[受益者] 園芸カレッジ研修生						[想定される受益者数] 園芸カレッジ研修生:10名						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくい園芸カレッジ研修事業、新規就農者支援事業、園芸経営者誘致事業 (役割分担) 研修生の誘致や、ふくい園芸カレッジでの研修、研修終了後の就農支援の実施				
市町との連携状況	県事業に連動した補助を実施					他県の状況		佐賀県: トレーニングファーム推進事業 実施主体 農協、市町等 内 容 研修用ハウス、機械施設等の整備 補 助 率 県10/10				

地域で育てる園芸人材サポート事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	園芸振興課	課長名	駒野 雅保		
事業主体	市町・JA・公社等				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	補助												
補助率	国1/2・県1/10、国定額、国1/2												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額													
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		28,742	11,831	9,000	8,000		国事業および補助率変更による減						
2月現計予算額の推移		28,742	8,800	4,000	4,000								
決算額の推移		28,742	6,500	4,000									
前年度までの 主な増減理由	令和3年度 研修用パイプハウスの整備棟数の減 令和4年度 人材育成拠点整備対象が少なくなったことによる減 令和5年度 国事業および補助率変更による減												
[成果指標等の推移]													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	人材育成拠点による就農 (人数)	(目標) (0)	(0)	(2)	(4)		(4)	(4)	人材育成拠点による就農者:2名/年				
	実績	0	0	1	2		2	2					
活動指標	人材育成拠点の整備 (箇所)	(目標) (1)	(2)	(3)	(4)		(4)	(4)	人材育成拠点を4カ所整備(累計)				
	実績	1	2	3	4		4	4					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
人材育成拠点(坂井、福井、美浜、奥越)が整備完了したため終了。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	8,000		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			